

今日のメーデー成功を力に共同を広げ、闘いを一層強めよう

2010年5月1日 第81回岡山県中央メーデー

実行委員長 花田雅行（県労会議議長）

皆さんおはようございます。第81回目デーに参加された皆さん大変ご苦労様です。1920年に日本で最初のメーデーが行われて今年が90年という節目の年になります。メーデーは全世界の労働者のデモンストレーションによって、団結の力と国際連帯の意志を示す統一行動の日であり、労働時間短縮や賃金引き上げなど働く者の要求と広く国民的な要求を高らかに掲げて国民にアピールする場です。今年のメーデーは昨年の総選挙で自民党・公明党の政権に「NO」の審判を突きつけ政権交代を実現して迎えるメーデーです。国民の力で政治を変える事ができるという事を実現し、さらに私たちの要求実現、国民本位の政治の実現を目指して大きな運動が取り組まれています。普天間基地即時撤去を求める闘いが沖縄と全国で闘われています。さらにNPT再検討会議がニューヨークで行われ、岡山から29名の代表が参加し全国では1,500名を超える代表団が現地入りしています。こうした激動の情勢の基で開催されるメーデーを諸要求実現の闘いの決起の場としましょう。①皆さん私たちの要求で緊急で切実な課題は、いくつかありますが、その中でも現在国会で議論されている、労働者派遣法の抜本改正の問題は重要です。一昨年の秋から派遣労働者の派遣斬りが横行しました。岡山でも年越し派遣村を開設して労働者の支援を行ってきました。昨年2月から倉敷での「ほっとスペース25」の取り組みでは1年間で宿泊利用者は57名にもぼり、相談者数は203名です。岡山でのセルターの利用者は68名です。岡山年越し派遣村にはのべ236名方が入村されました。派遣斬り等で非正規労働者の失職は厚生労働省の調べで一昨年10月から、岡山県で約5千人です。こうした派遣労働者の首切りを平然と行い大もうけをしている大企業は内部留保を400兆円もため込んでいます。

皆さんの暮らしはどうか。長い間「企業が儲ければ労働者に儲けの配分が行く、そして国民の暮らしが良くなる」と企業は行ってきました。しかし400兆円もため込むほど儲けていても国民の暮らしは良くなっていません。むしろ収入は下がった人が多いのではないのでしょうか。不安定労働になった人が多いのではないのでしょうか。派遣切りに合った労働者は、住む家すら奪われ自殺する人も出てきています。これを変えたい、人身売買とも言える労働者派遣法を抜本改正してほしい、基本は全ての労働者を正規採用にしてほしいと願っています。しかし現在議論されている改正法案はこの願いに背を向け、例外規定を設けて派遣を認めるという大変不十分な内容であり改悪まで含まれており、鳩山新政権に怒りがわいています。抜け穴のない労働者派遣法の抜本改正と、大企業の大もうけを労働者国民・中小企業に還元し、農業従事者の価格補償も行い労働者・国民の暮らしを向上させ内需拡大で景気の回復を実現するために力を合わせて闘いましょう。

②二つ目の問題は75歳になったら後期高齢者医療制度で別の保険に入れ、わずかな年金から保険料を徴収する、この年齢で分ける制度は廃止してほしいという声を受け止めて選挙で民主党は勝利しました。政権を取ったら、廃止は先延ばし、4月の保険料見直しで負担増にならないように国が負担すると言ってせず、岡山県では4.2%の引き上げ、改正すると言う中身は65歳以上に広げるだけです、国民は裏切られたと多くの人が思っています。直ちに廃止して基に戻させましょう。

③三つ目は、普天間基地は「国外か少なくとも県外へ」と選挙の時に民主党は主張していたのではないのでしょうか。「国外」と言うことは日本から出て行ってもらう事で、その決意もなしに選挙で約束したのでしょうか。公約を守るなら「アメリカに帰ってください」とアメリカにまず言うのがスタートではないのでしょうか。それを言わず、「私を信じてください」といってアメリカの言いなりになり、国内で基地を強化し沖縄県内と国内で候補地選別に奔走している鳩山政権は、選挙詐欺と言われてもしかたありません。アメリカにあれば違法状態の普天間基地の即時撤去、日本のどこにも米軍基地はいらないこの声を大きく広げ、その根源にある日米安保条約の廃棄を迫りましょう。中国地方にある岩国で5月23日に大集会が開催されます。山口からは是非多くの皆さんの参加をと呼びかけがありました。日本原での日米共同演習反対集会に岩国から参加していただきました。岩国集会への参加も呼びかけます。

この3つの課題は緊急で私たちの暮らしと命がかかった闘いです、今と将来のために一層大きな運動を呼びかけます。

みなさん、闘えば展望は開けます。23年間戦い続けた国鉄採用差別事件もここの問題を残していますが、解決金については決着しました。

先日岡山地裁で障害者自立支援法違憲訴訟の和解が行われました。光成弁護団長は「裁判に勝利したとし、その勝利は全国で闘ってきたからである」と法廷で述べました。ここでも明らかなように、闘いが展望を切り開いてきました。このことに確信を持って今後も一層大きな、連帯を広げネットワークを広げ要求実現をめざして取り組んで行きましょう。

最後に、現政権はふらついています、それは国民の声と「財界・アメリカ」言いなりの基本姿勢のもとでのせめぎ合いの中でふらついています、その本質は肝心要のところでは自民党と何ら変わりません。また、これまでの政策に何ら反省もなく、自民党から出て、看板だけ変える、名前を変えて憲法改悪や構造改革推進など進めようとする新党には何ら期待でき無い事は言うまでもありません。

今年のメーデーは多くの要求スローガンがありますが、国民本位の政治に向かう大変わかりやすい政治状況の下で開かれています。今日を機に要求実現と参議院選挙で国民本位の政治への転換を求めて共に闘おうではありませんか。

皆さんの最後まで参加でメーデーを成功させていただく様改めてお願いしてあいさつとします。第81回メーデー万歳。